

れいわ ねんど
令和4年度

こうとうくちいきせいかつ かん ちょうさ
江東区地域生活に関する調査

こうとうくしょうがいしゃじったいちょうさ
(江東区障害者実態調査)

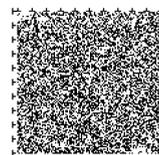
ちょうさけっかほうこくしょ がいようばん
【調査結果報告書 概要版】

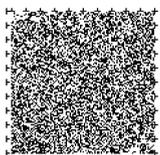
れいわ ねん がつ
令和5年3月



スポーツと人情が熱いまち

江東区





目次

第1章 調査概要

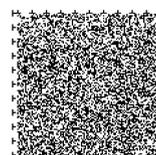
| | |
|-------------|----|
| 1 調査目的 | 2 |
| 2 調査の種類と対象者 | 3 |
| 3 回収結果 | 3 |
| 4 調査項目 | 4 |
| 5 報告書の見方 | 11 |

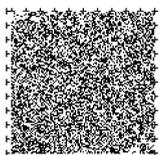
第2章 障害者調査・障害児調査の主な結果

| | |
|----------------------|----|
| 1 ご本人の状況について | 14 |
| 2 仕事や学校生活について | 17 |
| 3 社会参加やコミュニケーションについて | 19 |
| 4 情報・相談先について | 20 |
| 5 サービスの利用について | 21 |
| 6 暮らしについて | 22 |
| 7 災害時の支援について | 24 |
| 8 障害者施策について | 26 |
| 9 共生社会について | 28 |
| 10 介護者について | 32 |

第3章 サービス提供事業所調査の主な結果

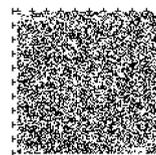
| | |
|---------------|----|
| 1 事業所について | 36 |
| 2 サービスの提供について | 36 |
| 3 事業所運営について | 37 |





だい 第 1 しょう 章

ちょうさがいよう 調査概要



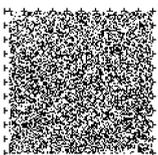
1 調査目的

令和5年度に策定を予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」の基礎資料とするとともに、今後の施策のあり方を検討するため、「令和4年度江東区地域生活に関する調査(江東区障害者実態調査)」を実施しました。

それぞれの調査の目的は以下の通りです。

■ 調査目的

| 調査種別 | 目的 |
|-------------|--|
| 障害者調査 | 江東区に在住する、障害のある18歳以上の方や障害福祉サービスを利用されている方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とします。 |
| 障害児調査 | 江東区に在住する、障害のある18歳未満の方や児童発達支援、放課後等デイサービス等に通われているお子様を養育している保護者の方を対象とし、生活実態や福祉サービスの利用状況、ニーズ等を把握することを目的とします。 |
| サービス提供事業所調査 | 障害福祉サービスや障害児通所支援等を提供されている江東区内の事業所を対象とし、福祉サービスの提供状況や事業所を運営する上での課題等を把握することを目的とします。 |
| 障害者団体調査 | 江東区内で活動されている、障害福祉や障害者支援、障害児支援に関わる団体を対象とし、障害のある方を取り巻く状況や障害者施策のあり方に対するご意見等を把握することを目的とします。 |



2 調査の種類と対象者

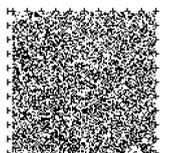
■調査の種類と対象者

| ちょうさしゅべつ 調査種別 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | ていきょう サービス提供 じぎょうしよちょうさ 事業所調査 | しょうがいしゃだんたい 障害者団体 ちょうさ 調査 |
|--------------------------|---|---------------------|---|------------------------------------|
| ちゅうしゅつほうほう 抽出方法 | むさくいちゅうしゅつ 無作為抽出 | | しつがいちょうさ 悉皆調査 | |
| ちょうさちいき 調査地域 | こうとうくぜんいき 江東区全域 | | | |
| ちょうさほうほう 調査方法 | ゆうそうはいふ ゆうそうかいしゅう 郵送配布・郵送回収 | | ゆうそうはいふ ゆうそうかいしゅう 郵送配布・郵送回収 いちぶ じぎょうしよ だんたい たい (一部の事業所・団体に対し、 たいめん 対面でのヒアリングを実施) | |
| ちょうさきじゅん び 調査基準日 | れいわ ねん がつ にち 令和4年10月1日 | | | |
| アンケート ちょうさきかん 調査期間 | れいわ ねん がつ にち がつ にち 令和4年10月13日～11月14日 | | れいわ ねん がつ にち がつ にち 令和4年10月6日～10月31日 | |
| ヒアリング ちょうさきかん 調査期間 | / | | れいわ ねん がつ にち がつ にち 令和4年11月7日～11月17日 | |

3 回収結果

■各調査の回収結果

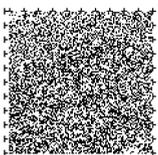
| ちょうさしゅべつ 調査種別 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | ていきょう サービス提供 じぎょうしよちょうさ 事業所調査 | しょうがいしゃだんたい 障害者団体 ちょうさ 調査 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|------------------------------------|
| はいふすう 配布数 | 3,921 <small>けん</small> 件 | 1,008 <small>けん</small> 件 | 212 <small>けん</small> 件 | 35 <small>けん</small> 件 |
| ゆうこうかいどうすう 有効回答数 | 1,555 <small>けん</small> 件 | 464 <small>けん</small> 件 | 136 <small>けん</small> 件 | 24 <small>けん</small> 件 |
| ゆうこうかいしゅうりつ 有効回収率 | 39.7 <small>パーセント</small> % | 46.0 <small>パーセント</small> % | 64.2 <small>パーセント</small> % | 68.6 <small>パーセント</small> % |



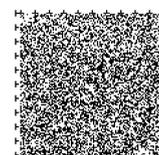
ちょうさこうもく
4 調査項目

しょうがいしゃちょうさ しょうがいじちょうさ
■ 障害者調査・障害児調査

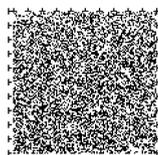
| こうもく 項目 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | せつもんないよう 設問内容 |
|---------------------------------------|----------------------|---|---|
| 1 ご本人の 状況について ほんにん じょうきょう | とい 問1 | とい 問1 | ほんにん ねんれい 本人の年齢 |
| | とい 問2 | とい 問2 | しょうがいしゅべつ しんたいしょうがい うちわけ 障害種別、身体障害の内訳 |
| | とい 問2-1 | | なんびょう しんだん う ねんれい 難病の診断を受けた年齢 |
| | とい 問2-2 | | こうじのうきのうしょうがい しんだん う ねんれい 高次脳機能障害の診断を受けた年齢 |
| | とい 問3 | とい 問3 | しょうがいしゃてちょう 障害者手帳について |
| | | とい 問4 | はったつ かん しんだん う 発達に関する診断を受けているか |
| | | とい 問5 | はったつ かん もんだい き ねんれい 発達に関する問題に気づいた年齢 |
| | とい 問4 | | ちょうさかいとうしゃ 調査回答者 |
| | とい 問5 | とい 問6 | どうきよしゃこうせい 同居者構成 |
| | とい 問6 | | にちじょうせいかつ かいじょ しえん ひつようせい 日常生活で介助や支援の必要性 |
| | とい 問7 | とい 問7 | ていきてき つういんじょうきょう 定期的な通院状況 |
| とい 問8 | とい 問8 | にちじょうせいかつ いりょうてき じょうきょう う 日常生活での医療的ケアの状況／受けてい る医療的ケアの内訳 | |
| 2 仕事や学校生活について しごと がっこうせいかつ | とい 問9 | とい 問9 | につちゅう かつどう 日中の活動について |
| | とい 問10(1) | | しゅうぎょうしゃ げんざいこま 就業者の現在困っていること |
| | とい 問10(2) | | しゅうぎょうしゃ こんご きぼう 就業者の今後の希望 |
| | とい 問11(1) | | じたくりょうようしゃなど げんざいこま 自宅療養者等の現在困っていること |
| | とい 問11(2) | | じたくりょうようしゃなど こんご きぼう 自宅療養者等の今後の希望 |
| | とい 問12(1) | | じぎょうしょうとうつうしよしゃ げんざいこま 事業所等通所者の現在困っていること |
| | とい 問12(2) | | じぎょうしょうとうつうしよしゃ こんご きぼう 事業所等通所者の今後の希望 |



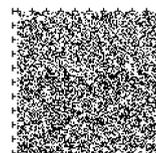
| こどもく 項目 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | せつもんないよう 設問内容 |
|-------------------------|----------------------|---------------------|--|
| 2 仕事や学校生活について | とい 問13(1) | | がくせいなど げんざいこま 学生等の現在困っていること |
| | とい 問13(2) | | がくせいなど こんご きぼう 学生等の今後の希望 |
| | | とい 問10(1) | がっこうせいかつ しんばい こま 学校生活において心配している／困っていること |
| | | とい 問10(2) | そつぎようご きぼう しんろ 卒業後の希望する進路 |
| | とい 問14 | | しごと ひつよう 仕事をしていくために必要なこと |
| 3 社会参加やコミュニケーションについて | とい 問15 | とい 問11 | しゃかいさんか よ か かつどう がいしゅつ こま 社会参加や余暇活動などで外出をするとき困 ること |
| | とい 問16 | とい 問12 | しゃかいさんか しえん ようぼう 社会参加の支援サービスについての要望 |
| | とい 問17 | とい 問13 | よ か す かた 余暇の過ごし方 |
| 4 情報・相談先について | とい 問18 | とい 問14 | ふくし かん じょうほうにゆうしゅけいる 福祉に関する情報入手経路 |
| | とい 問19 | とい 問15 | ふくし りよう こま そうだんさき 福祉サービスの利用で困ったときの相談先 |
| | とい 問20 | とい 問16 | ふくし りよう く やくしよ 福祉サービスの利用について区役所などへ 相談しやすくするのに必要なこと |
| | とい 問21 | とい 問17 | じょうほう しゅとくりよう い し そつう ひつよう 情報の取得利用や意思疎通における必要な 施策 |
| 5 サービスの利用について | とい 問22 | とい 問18 | ふくし りようじょうきよう 福祉サービスの利用状況 |
| | とい 問23 | とい 問19 | りよう ふくし まんぞくど 利用している福祉サービスの満足度 |
| | とい 問24 | とい 問20 | げんざいりよう ふくし ていきょうじぎょうしゃ 現在利用している福祉サービス提供事業者へ の要望 |
| 6 暮らしについて | とい 問25 | とい 問21 | こうとうく きよじゅうじょうきよう 江東区の居住状況 |
| | とい 問26 | とい 問22 | げんざい じゅうきよけいたい 現在の住居形態 |
| | とい 問27 | | す かん ひつよう しえん 住まいに関して必要な支援 |



| こどもく 項目 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | せつもんないよう 設問内容 |
|-----------------|----------------------|---------------------|--|
| 6 暮らしについて | とい 問28 | とい 問23 | かけい じょうきよう 家計の状況 |
| | とい 問29 | | しょうらいきぼう く かた 将来希望している暮らし方 |
| | とい 問30 | とい 問24 | きぼう く しょうらいじりつ 希望する暮らしをするため／将来自立した せいかつ おく ひつよう 生活を送るために必要なこと |
| | | とい 問25 | こうとうくりつとしょかん じゅうじつ 江東区立図書館のサービスで充実してほしいこと |
| | とい 問31 | とい 問26 | と く ぶん かけいじゆつかつどう 取り組んでみたい文化芸術活動 |
| 7 災害時の支援について | とい 問32 | とい 問27 | ひなんこうどうようしえんしゃめいぼ にんちど 避難行動要支援者名簿の認知度 |
| | とい 問33 | とい 問28 | ちいき ぼうさいくんれん さんかいこう 地域の防災訓練への参加意向 |
| | とい 問33-1 | とい 問28-1 | ちいき ぼうさいくんれん さんか りゆう 地域の防災訓練に参加したくない理由 |
| | とい 問34 | とい 問29 | さいがいじ ひつよう しえん 災害時に必要な支援 |
| | とい 問35 | とい 問30 | さいがいほっせいじ こま ふあん 災害発生時に困ることや不安なこと |
| | とい 問36 | とい 問31 | さいがい たい そな 災害に対する備え |
| 8 障害者施策について | とい 問37 | とい 問32 | しょうがいしゃさべつかいしょうほう にんちど 障害者差別解消法の認知度 |
| | とい 問38 | とい 問33 | しょうがいしゃぎゃくたいぼうし にんちど 障害者虐待防止センターの認知度 |
| | とい 問39 | とい 問34 | さべつけいけん うむ 差別経験の有無 |
| | とい 問40 | とい 問35 | しょうがいしゃ ぎゃくたい さべつ ふせ ひつよう 障害者への虐待や差別を防ぐのに必要なこと |
| | とい 問41 | とい 問36 | にちじょうせいかつ しゅうい はいりよ かん 日常生活で周囲からの配慮を感じるか |
| | とい 問42 | とい 問37 | ねんまえ くら こうとうく しょうがいしゃしさく じゅうじつ 3年前と比べて江東区の障害者施策は充実し たか |
| | とい 問43 | とい 問38 | ねんまえ くら こうとうく ふくし へんか 3年前と比べて江東区の福祉サービスは変化し たか |
| | とい 問44 | とい 問39 | しょうがいしゃしえんしさく まんぞくど 障害者支援施策の満足度 |
| | とい 問45 | とい 問40 | まわ ひと たす 周りの人から助けってもらったり、してもらってう れしかったこと |



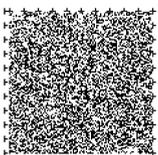
| こどもく 項目 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | せつもんないよう 設問内容 |
|--|----------------------|--|--|
| 9 障害者スポーツ にっしん | とい 問46 | とい 問41 | とく 取り組んでみたいスポーツ |
| | とい 問47 | とい 問42 | スポーツ・レクリエーションを ^{おこな} 行う際に ^{さい} 困って ^{こま} いること |
| 10 共生社会 ^{きんせい} について ^{しんがかい} | とい 問48 | とい 問43 | きんじょう あ ていど 近所付き合いの程度 |
| | とい 問49 | とい 問44 | がいしゅつさき てだす はいりよ けいけん 外出先で手助けや配慮を ^{けいけん} してもらった経験 |
| | とい 問50 | とい 問45 | こうとうく く 江東区での暮らしについて |
| | とい 問51 | とい 問46 | こうとうく す つづ 江東区に住み続けたいか |
| | とい 問52 | とい 問47 | とも せいかつ ちいきしゃかい じつげん たいせつ 共に生活できる地域社会の実現のために大切 だと ^{かんが} 考えること |
| | とい 問53 | とい 問48 | ヘルプマークの ^{にんちど} 認知度 |
| | とい 問54ア) | | せいねんこうけんせいど にんちど 成年後見制度の認知度 |
| | とい 問54イ) | | にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう にんちど 日常生活自立支援事業の認知度 |
| | とい 問55 | とい 問49 | こうえん ふべん かん 公園で不便に感じていること |
| | とい 問56 | とい 問50 | こうふくど 幸福度 |
| とい 問57 | とい 問51 | こうとうく しょうがいしゃさく かん じゆういけん 江東区の障害者施策に関する自由意見 | |
| 11 介護者 ^{かいごしゃ} について | とい 問58 | | かいごしゃ つづきがら 介護者の続柄 |
| | とい 問58ア) | | かいごしゃ ねんれい 介護者の年齢 |
| | とい 問58イ) | | かいごしゃ にち かいごじかん 介護者の1日の介護時間 |
| | とい 問59 | | かいごしゃ しょうがいしゃさべつかいしょうほう にんちど 介護者の障害者差別解消法の認知度 |
| | とい 問60 | | かいごしゃ かいご ばあい たいおう 介護者が介護できなくなった場合の対応 |
| | とい 問61 | | かぞくかいご しえんさく こんごじゅうじつ 家族介護の支援策として今後充実してほしい こと |



| こもく項目 | しょうがいしゃちょうさ 障害者調査 | しょうがいじちょうさ 障害児調査 | せつもんないよう 設問内容 |
|---------------|----------------------|---------------------|---|
| 11 介護者について | とい問62 | とい問52 | かいごしゃ ようかいごにんてい じょうきよう 介護者の要介護認定の状況 |
| | とい問63 | とい問53 | かいごしゃ きんむけいたい 介護者の勤務形態 |
| | とい問64 | とい問54 | かいご はたら かた ちょうせい うむ 介護のための働き方の調整の有無 |
| | とい問65 | とい問55 | しごと かいご りょうりつ こうか つと さき しえん 仕事と介護の両立に効果がある勤め先の支援 |
| | とい問66 | とい問56 | こんご しごと かいご りょうりつじょうきよう 今後の仕事と介護の両立状況 |
| | | とい問57 | こ どもが 18さい になった とき 希望 子どもが18歳になった時の希望 |
| | とい問67 | とい問58 | しょうらい ふあん おも 将来について不安に思うこと |
| | とい問68 | とい問59 | いりょうてき ひつよう ひと こ かいご 医療的ケアを必要とする人／子どもの介護に ついて困りごとや不安に思うこと |

ていきょうじぎょうしよちょうさ
■サービス提供事業所調査

| こもく項目 | せつもんばんごう 設問番号 | せつもんないよう 設問内容 |
|------------------|------------------|--|
| 1 事業所について | とい問1 | じぎょうしよ けいえいしゆたい 事業所の経営主体 |
| | とい問2 | じぎょうしよ しょくいんすう 事業所の職員数 |
| | とい問3 | してい う 指定を受けているサービス |
| | とい問4 | かいごほけん してい う 介護保険サービスの指定を受けているか |
| | とい問5 | じぎょうしよ かいぎょうねん 事業所の開業年 |
| 2 サービスの提供について | とい問6 | ていきょう サービス提供について |
| | とい問7 | じっさい ていきょうりよう ていきょうかのう りよう サービスの「実際の提供量」と「提供可能な量」 |
| | とい問8 | ていきょう うえ かだい サービスを提供する上での課題 |
| | とい問9 | りようしゃ そうだん くじょうないよう 利用者からの相談や苦情内容 |
| | とい問10 | じんざいいくせい とりくみ 人材育成のための取組 |



| こもく 項目 | せつもんばんごう 設問番号 | せつもんないよう 設問内容 |
|-------------------------|------------------|----------------------------|
| 2 サービスの提供 サービス | 問11 | サービスの質向上のための取組 |
| | 問12 | 拡充したいと思う支援の分野 |
| | 問13 | 拡充したいと思う知識やスキルの分野 |
| 3 事業所運営について 事業所運営 | 問14 | 力を入れている提供サービス |
| | 問15 | 提供サービスの収入割合 |
| | 問16 | 事業所を運営していく上での課題 |
| | 問17 | 人材確保のために取り組んでいること |
| | 問18 | 今年度の収支状況 |
| | 問19 | 前年度との収支状況の比較 |
| | 問20 | 収支の向上や改善についての考え |
| | 問21 | 新規参入や事業拡大を検討している事業 |
| | 問22 | 新規参入や事業拡大する上での課題 |
| | 問23 | 新規参入や事業拡大促進のために必要な区での取組 |
| | 問24 | 職員数の充足状況 |
| | 問24-1 | 職員数が不足している理由 |
| | 問25 | 不足していると思われるサービスや支援 |
| | 問26 | 入所者の地域生活への移行を進める上での課題 |
| | 問27 | 入所者の地域生活への移行を進める上で工夫していること |
| | 問28 | 虐待防止策の取組 |
| | 問29 | 職員による虐待やハラスメント防止のための工夫 |
| | 問30 | 利用者による暴力やハラスメント防止のための工夫 |
| | 問31 | 利用者の意思決定支援の対応状況 |
| | 問32 | 災害時対策についての取組 |

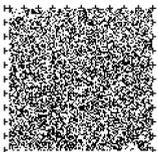


| こどもく 項目 | せつもんばんごう 設問番号 | せつもんないよう 設問内容 |
|-----------------|------------------|--|
| 4 連携 について | とい 問33(1) | ちいきしゃかい かか おこな 地域社会との関わりについて行っていること |
| | とい 問33(2) | ちいきしゃかい かか おこな 地域社会との関わりについてこれから行えること |
| | とい 問34 | ちいき れんけい はか おこな 地域との連携を図るために行っていること |
| | とい 問35 | れんけい かんけいき かん だんたい 連携している関係機関・団体 |
| | とい 問36 | かんけいき かん だんたい れんけい きょうか ひつよう 関係機関・団体との連携を強化するために必要なこと |
| | とい 問37 | こうとうく しょうがいしゃしやく かん じゅういけん 江東区の障害者施策に関する自由意見 |

しょうがいしゃだんたいちようさ
■障害者団体調査

| せつもんばんごう 設問番号 | せつもんないよう 設問内容 |
|------------------|--|
| とい 問1 | そうだん じょうほうていきょうたいせい しえん 相談・情報提供体制、コミュニケーション支援 |
| とい 問2 | じりつせいかつしえん 自立生活支援 |
| とい 問3 | ほけん いりよう 保健・医療 |
| とい 問4 | ユニバーサルデザイン、生活環境 せいかつかんきょう |
| とい 問5 | こよう しゅうろう 雇用・就労 |
| とい 問6 | ちいきかつどうしえん 地域活動支援 |
| とい 問7 | くみん りかい きょうかん じょうせい そくしん 区民の理解・共感の醸成・促進 |
| とい 問8 | ちいきせいかつかんきょうせいび 地域生活環境整備 |
| とい 問9 | はいりよ ひつよう こ たい きょういく りょういく 配慮を必要とする子どもに対する教育・療育 |

※この冊子(調査結果報告書概要版)では、主な調査結果を抜粋して掲載しています。この冊子に掲載されていない調査結果は、調査結果報告書本編をご覧ください。調査結果報告書本編は、江東区のホームページで公開しています。



5 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の % に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

●「 % 」について

グラフ中の「 % 」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問(1つだけに○をつけるもの)であっても、合計が100 % にならない場合があります。また、複数回答の設問(あてはまるものすべてに○をつけるもの等)の場合は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

●選択肢の記載について

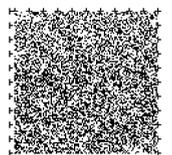
グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

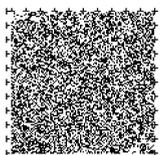
●「無回答」について

グラフ中において「無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。

●クロス集計表について

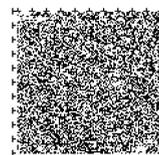
クロス集計表の表側(左端の分類層)は「無回答」を除いているため、各層の実数と集計対象の総数が一致しないことがあります。





だい 第 2 しょう 章

しょうがいしゃちょうさ しょうがいじちょうさ おも けっか 障害者調査・障害児調査の主な結果

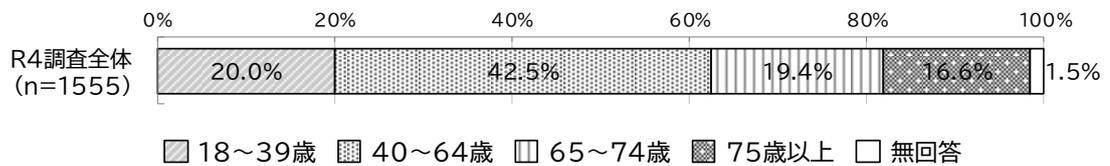


1 ご本人の状況について

(1) 本人の年齢

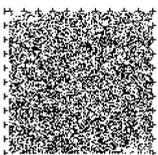
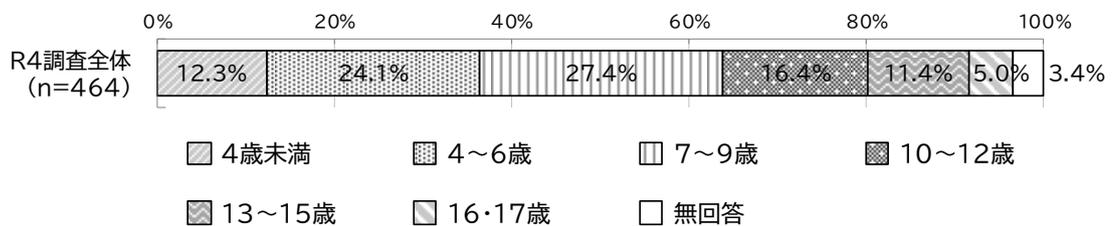
<障害者調査 問1>

本人の年齢について、令和4年調査全体では「40～64歳」が42.5 % と最も高く、次いで「18～39歳」が20.0 %、「65～74歳」が19.4 % となっています。



<障害児調査 問1>

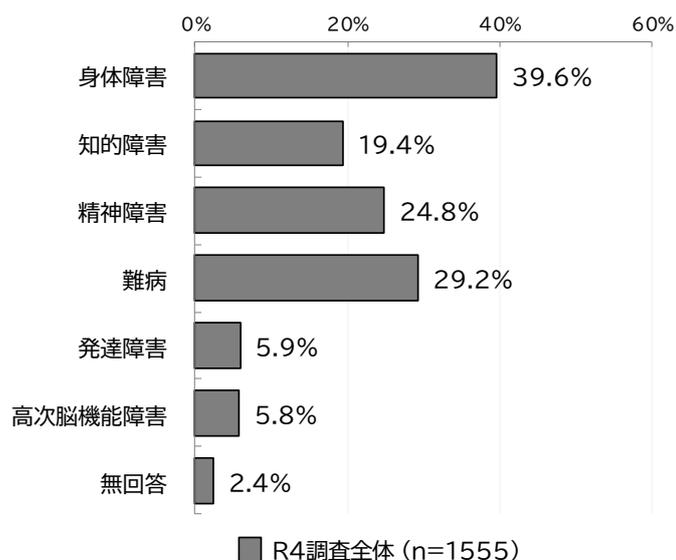
子どもの年齢について、令和4年調査全体では「7～9歳」が27.4 % と最も高く、次いで「4～6歳」が24.1 %、「10～12歳」が16.4 % となっています。



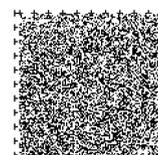
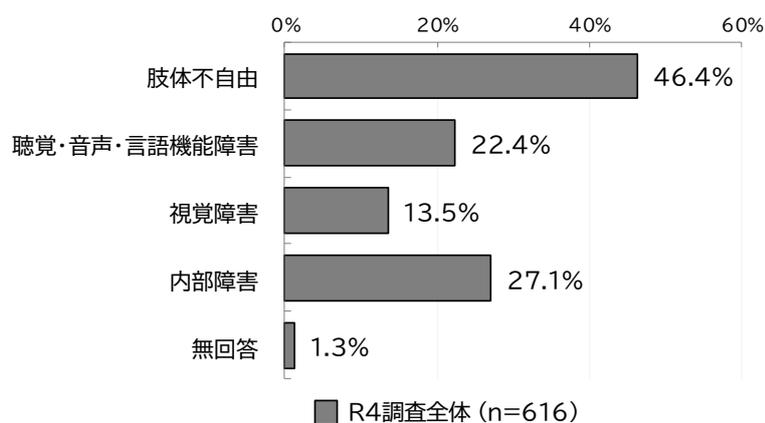
しょうがいしゅべつ (2) 障害種別

しょうがいしゃちょうさ とい <障害者調査 問2>

しょうがい れいわ ねんちょうさせんたい しんたいしょうがい パーセント もっと たか っ
障害について、令和4年調査全体では「身体障害」が39.6 % と最も高く、次いで
なんびょう パーセント せいしんしょうがい パーセント
「難病」が29.2 %、「精神障害」が24.8 % となっています。

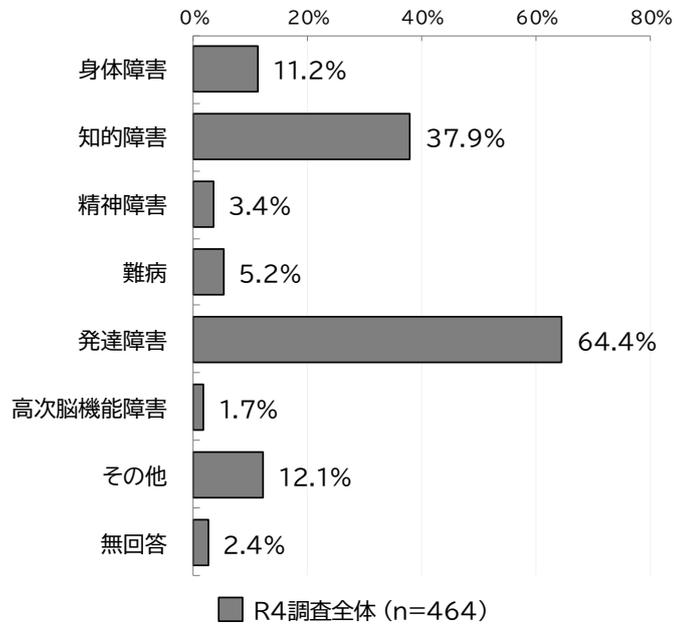


しんたいしょうがい しゅべつ 【身体障害の種別】

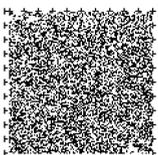
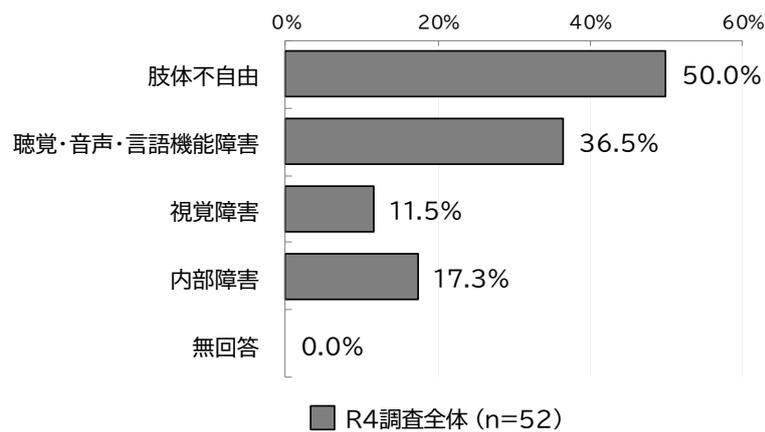


しょうがいじちょうさ とい
＜障害児調査 問2＞

しょうがい れいわ ねんちょうさせんたい はったつしょうがい パーセント もっと たか っ
障害について、令和4年調査全体では「発達障害」が64.4 % と最も高く、次いで
ちてきしょうがい パーセント
「知的障害」が37.9 % となっています。



しんたいしょうがい しゅべつ
【身体障害の種別】

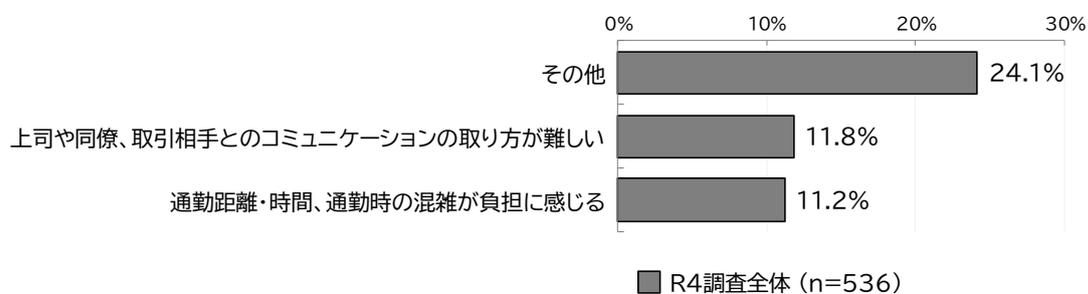


2 仕事や学校生活について

(1) 就業者の現在困っていること

<障害者調査 問10(1)>

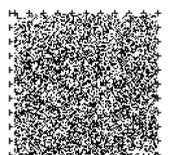
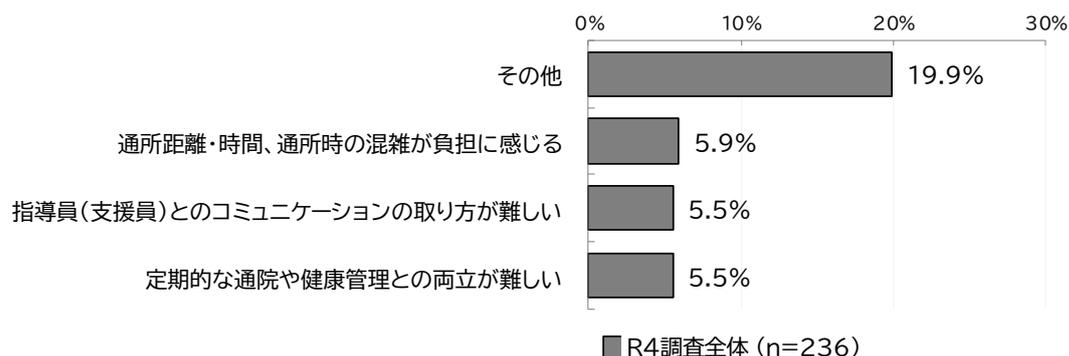
一般就労している方が、仕事をする上で困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「その他」が24.1%と最も高く、次いで「上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい」が11.8%、「通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる」が11.2%となっています。



(2) 事業所等通所者の現在困っていること

<障害者調査 問12(1)>

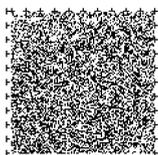
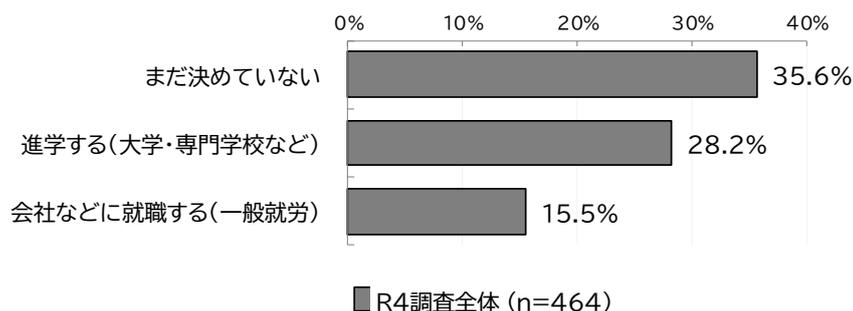
事業所等に通所している方が、現在困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「その他」が19.9%と最も高く、次いで「通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる」が5.9%、「指導員(支援員)とのコミュニケーションの取り方が難しい」「定期的な通院や健康管理との両立が難しい」が同率で5.5%となっています。



(3) 卒業後の希望する進路

< 障害児調査 問10(2) >

卒業後の希望する進路について、令和4年調査全体では「まだ決めていない」が35.6%と最も高く、次いで「進学する(大学・専門学校など)」が28.2%、「会社などに就職する(一般就労)」が15.5%となっています。

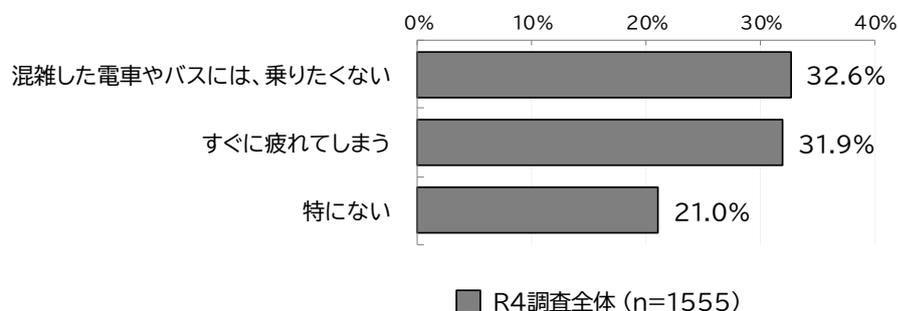


3 社会参加やコミュニケーションについて

(1) 社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ること

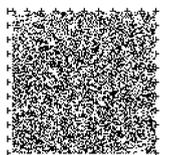
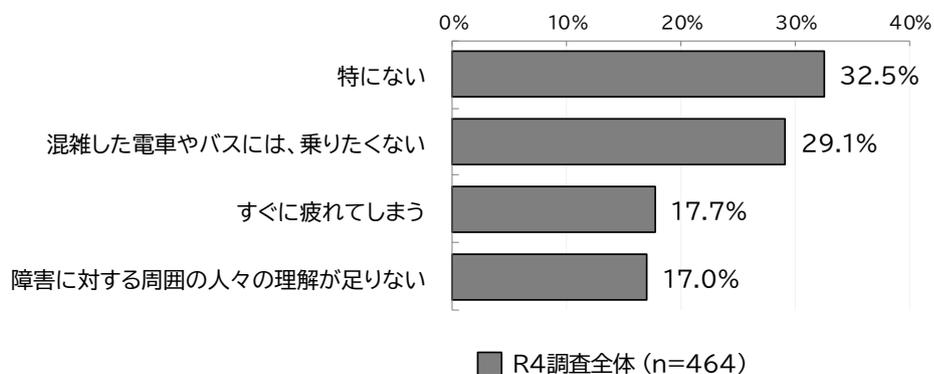
< 障害者調査 問15 >

社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ることについて、令和4年調査全体では「混雑した電車やバスには、乗りたくない」が32.6 % と最も高く、次いで「すぐに疲れてしまう」が31.9 %、「特にない」が21.0 % となっています。



< 障害児調査 問11 >

社会参加や余暇活動などで外出をするとき困ることについて、令和4年調査全体では「特にない」が32.5 % と最も高く、次いで「混雑した電車やバスには、乗りたくない」が29.1 %、「すぐに疲れてしまう」が17.7 %、「障害に対する周囲の人々の理解が足りない」が17.0 % となっています。

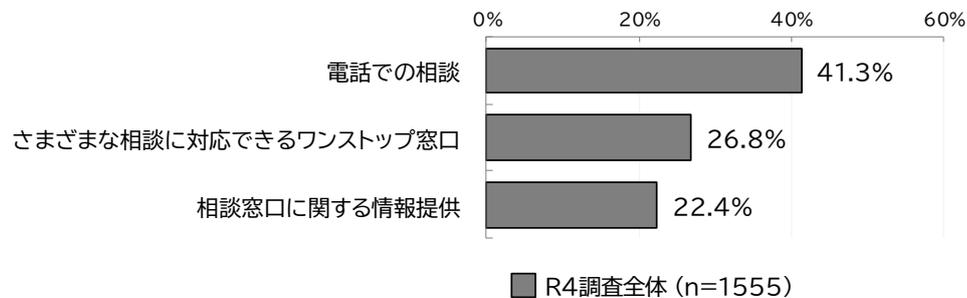


4 情報・相談先について

(1) 福祉サービスの利用について区役所などへ相談しやすくするのに必要なこと

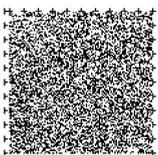
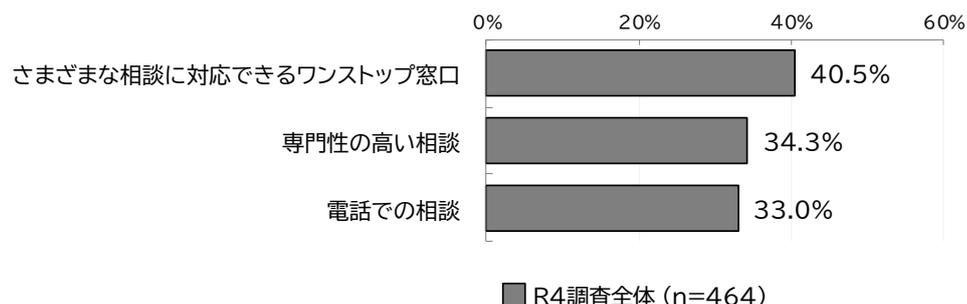
< 障害者調査 問20 >

福祉サービスの利用において区役所などへ相談しやすくするために必要なことについて、令和4年調査全体では「電話での相談」が41.3%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が26.8%、「相談窓口に関する情報提供」が22.4%となっています。



< 障害児調査 問16 >

福祉サービスの利用で区役所などへ相談しやすくするために必要なことについて、令和4年調査全体では「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口」が40.5%と最も高く、次いで「専門性の高い相談」が34.3%、「電話での相談」が33.0%となっています。

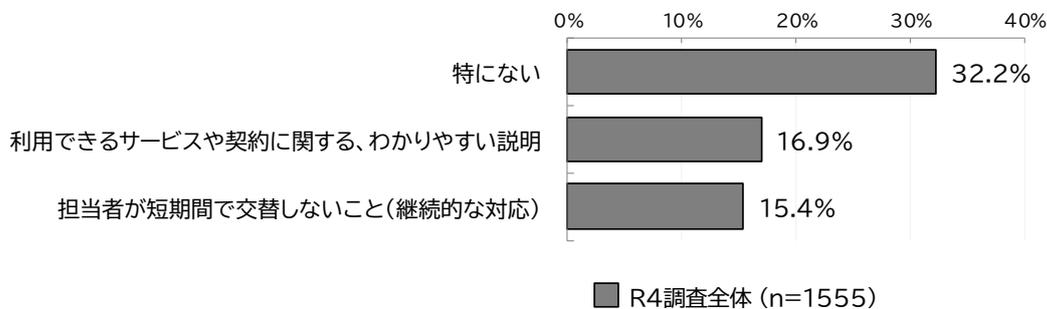


5 サービスの利用について

(1) 現在利用している福祉サービス提供事業者への要望

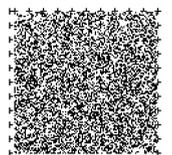
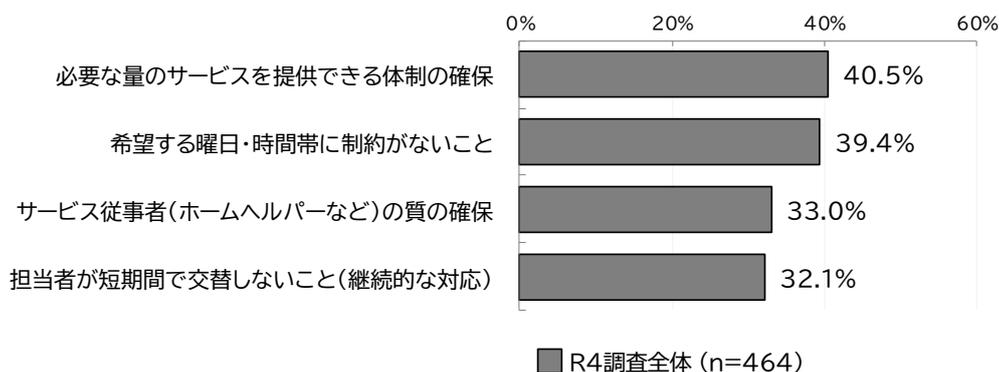
< 障害者調査 問24 >

現在利用しているサービス提供事業者への要望について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特にない」が32.2 % と最も高く、次いで「利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明」が16.9 %、「担当者が短期間で交替しないこと(継続的な対応)」が15.4 % となっています。



< 障害児調査 問20 >

現在利用しているサービス提供事業者への要望について、令和4年調査全体では「必要な量のサービスを提供できる体制の確保」が40.5 % と最も高く、次いで「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」が39.4 %、「サービス従事者(ホームヘルパーなど)の質の確保」が33.0 %、「担当者が短期間で交替しないこと(継続的な対応)」が32.1 % となっています。

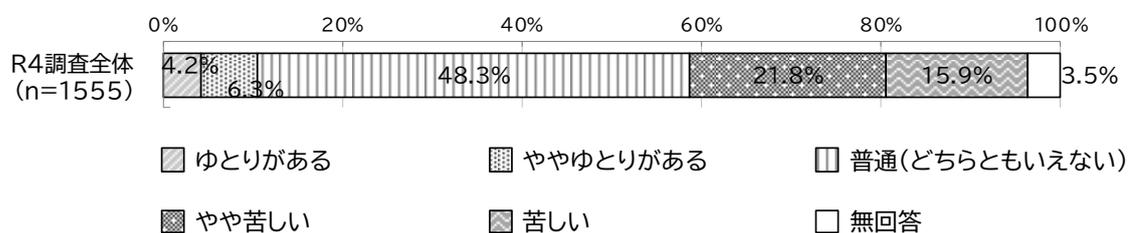


6 暮らしについて

(1) 家計の状況

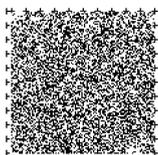
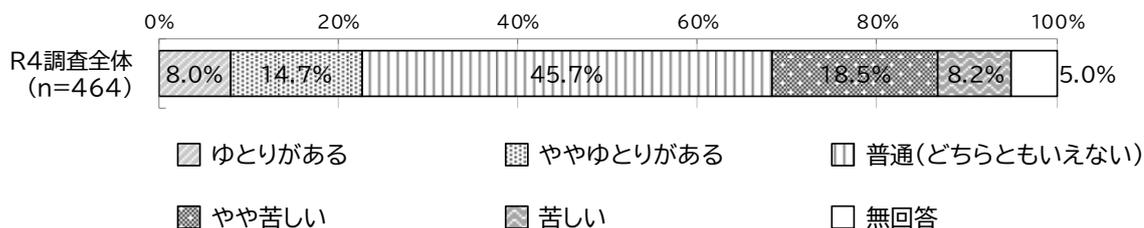
＜障害者調査 問28＞

現在の暮らし向きについて、令和4年調査全体では「普通(どちらともいえない)」が48.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」が21.8%、「苦しい」が15.9%となっています。



＜障害児調査 問23＞

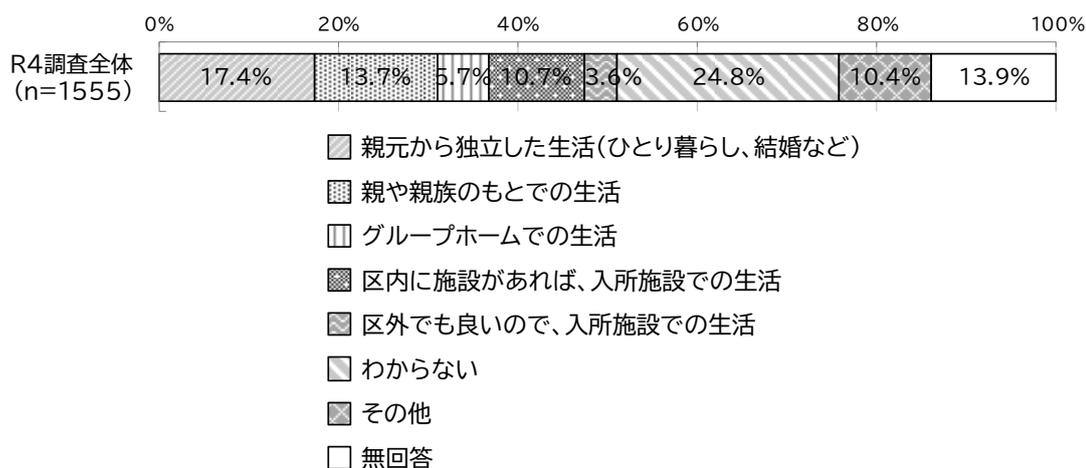
現在の暮らし向きについて、令和4年調査全体では「普通(どちらともいえない)」が45.7%と最も高く、次いで「やや苦しい」が18.5%、「ややゆとりがある」が14.7%となっています。



(2) 将来希望している暮らし方

< 障害者調査 問29 >

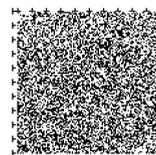
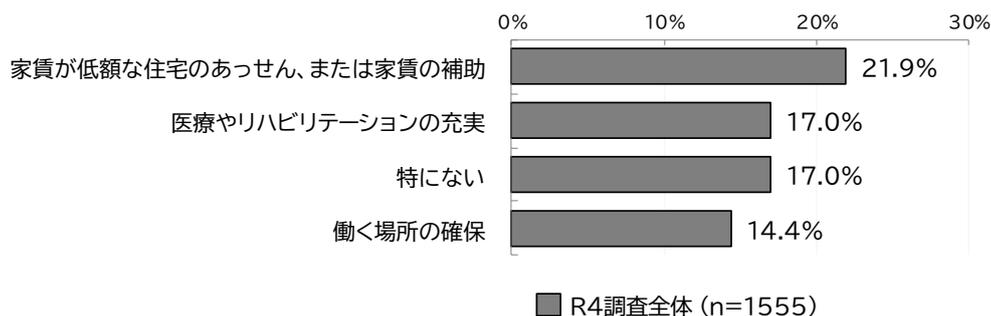
将来希望している暮らし方について、令和4年調査全体では「わからない」が24.8%と最も高く、次いで「親元から独立した生活(ひとり暮らし、結婚など)」が17.4%、「親や親族のもとでの生活」が13.7%、「親や親族のもとでの生活」が13.7%となっています。



(3) 希望する暮らしをするため／将来自立した生活を送るために必要なこと

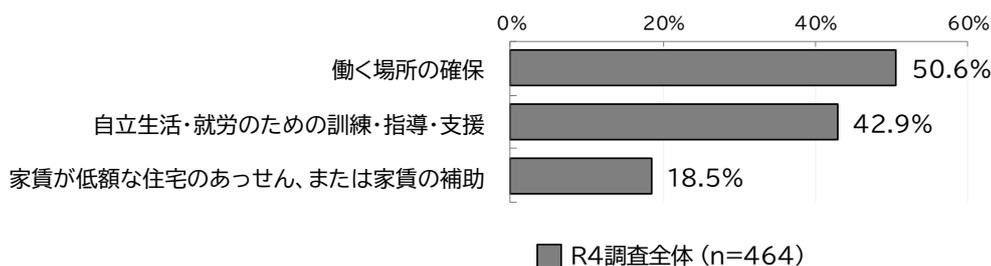
< 障害者調査 問30 >

希望する暮らしをするために必要なことについて、令和4年調査全体では「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」が21.9%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーションの充実」「特にない」が同率で17.0%、「働く場所の確保」が14.4%となっています。



しょうがいじ ちようさ とい
< 障害児調査 問24 >

しょうらいじ りつ せいかつ おく ひつよう れいわ ねんちよう さ ぜんたい はたら
 将来自立した生活を送るために必要なことについて、令和4年調査全体では「働く
 ばしょ かくほ パーセント もっと たか つ じりつせいかつ しゅうろう くんれん しどう し
 場所の確保」が50.6 % と最も高く、次いで「自立生活・就労のための訓練・指導・支
 えん パーセント やちん ていがく じゅうたく やちん ほじよ パーセント
 援」が42.9 %、「家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助」が18.5 % と
 なっています。

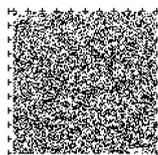
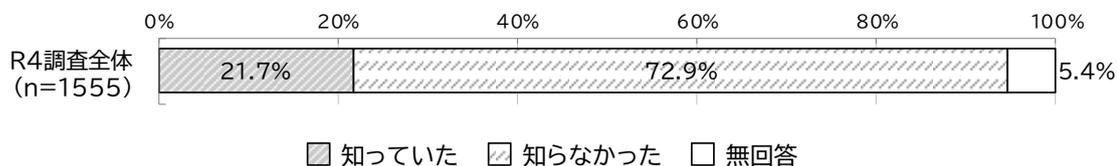


さいがいじ し えん
7 災害時の支援について

ひ なんこうどうよう し えんしゃめいぼ にんち ど
(1) 避難行動要支援者名簿の認知度

しょうがいしやちようさ とい
< 障害者調査 問32 >

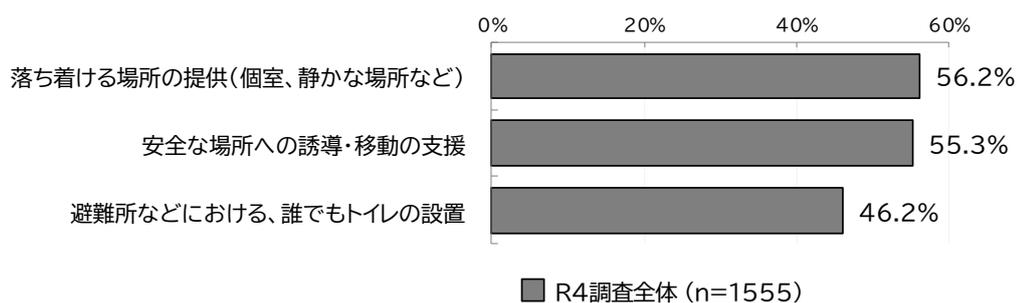
ひ なんこうどうよう し えんしゃめいぼ し れいわ ねんちよう さ ぜんたい し
 「避難行動要支援者名簿」を知っていたかについて、令和4年調査全体では「知らな
 った」が72.9 %、「知っていた」が21.7 % となっています。



(2)災害時に必要な支援

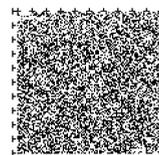
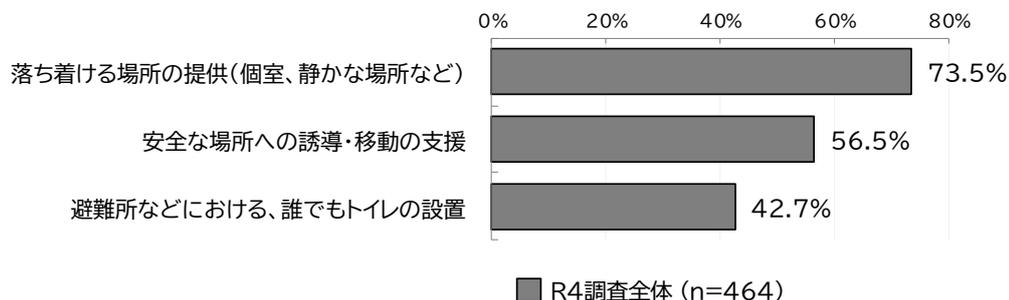
<障害者調査 問34>

災害時に必要な支援について、令和4年調査全体では「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」が56.2 % と最も高く、次いで「安全な場所への誘導・移動の支援」が55.3 %、「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」が46.2 % となっています。



<障害児調査 問29>

災害時に必要な支援について、令和4年調査全体では「落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）」が73.5 % と最も高く、次いで「安全な場所への誘導・移動の支援」が56.5 %、「避難所などにおける、誰でもトイレの設置」が42.7 % となっています。

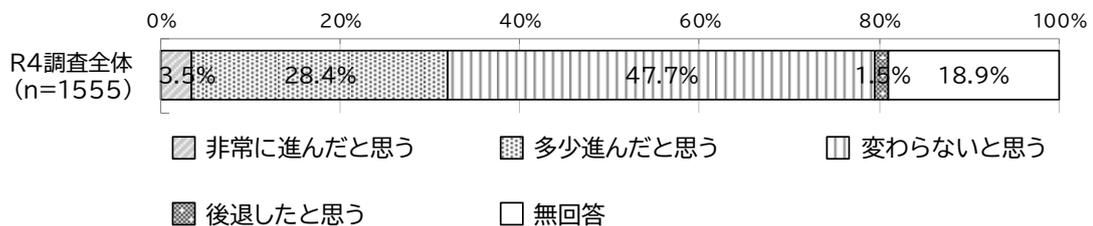


8 障害者施策について

(1) 3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したか

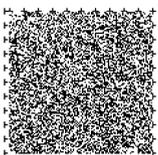
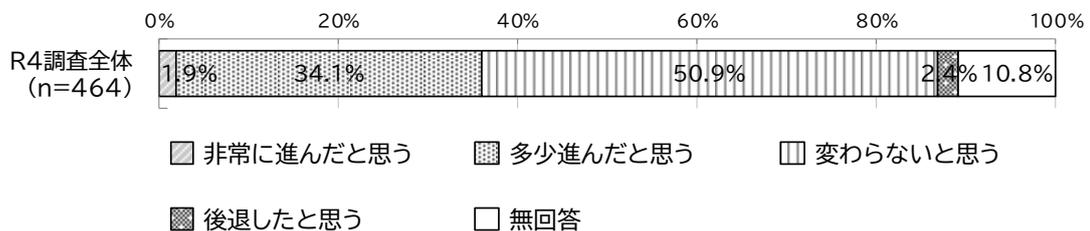
< 障害者調査 問42 >

3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「変わらないと思う」が47.7%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」が28.4%、「非常に進んだと思う」が3.5%、「後退したと思う」が1.6%、「無回答」が18.9%となっています。



< 障害児調査 問37 >

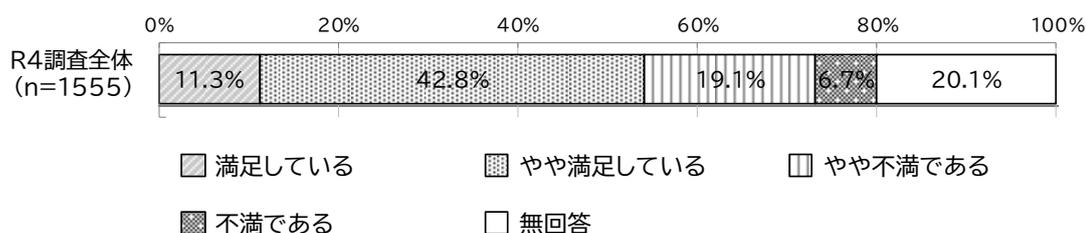
3年前と比べて江東区の障害者施策は充実したと思うかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「変わらないと思う」が50.9%と最も高く、次いで「多少進んだと思う」が34.1%、「後退したと思う」が2.4%、「無回答」が10.8%となっています。



(2) 障害者支援施策満足度

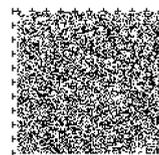
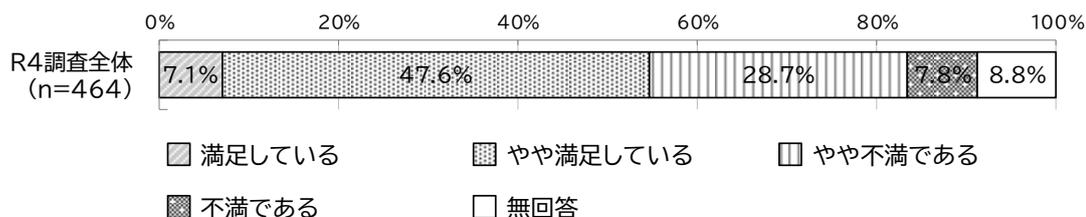
< 障害者調査 問44 >

障害者支援施策の満足度について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「やや満足している」が42.8 % と最も高く、次いで「やや不満である」が19.1 %、「満足している」が11.3 % となっています。



< 障害児調査 問39 >

障害者支援施策の満足度について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「やや満足している」が47.6 % と最も高く、次いで「やや不満である」が28.7 % となっています。

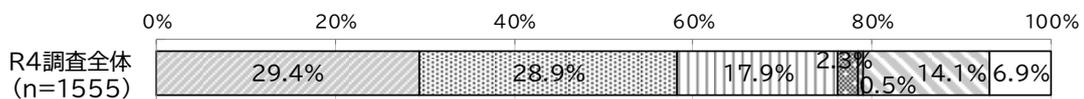


きょうせいしゃかい
9 共生社会について

こうとうく す つづ
(1)江東区に住み続けたいか

しょうがいしゃちょうさ とい
<障害者調査 問51>

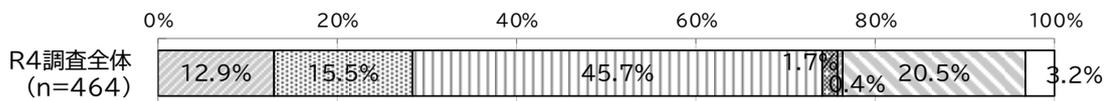
こうとうく す つづ おも れいわ ねんちょうさ ぜんたい なに いっ
江東区に住み続けたいと思うかについて、令和4年調査全体では「何があっても、一
しょう す つづ パーセント もっと たか つ くない す けんこうじょうたい
生住み続けたい」が29.4 % と最も高く、次いで「区内に住みたいが、健康状態によ
る」が28.9 %、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が17.9
パーセント
% となっています。



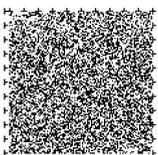
- 何があっても、一生住み続けたい
- 区内に住みたいが、健康状態による
- 仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい
- なるべく区外に住みたい
- 生活が不便で区内では暮らすことができない
- 家族の意向による、決められない
- 無回答

しょうがいじちょうさ とい
<障害児調査 問46>

こうとうく す つづ おも れいわ ねんちょうさ ぜんたい しごと う
江東区に住み続けたいと思うかについて、令和4年調査全体では「仕事や受けたいサ
ービスなどがあれば、住み続けたい」が45.7 % と最も高く、次いで「家族の意向に
よる、決められない」が20.5 %、「区内に住みたいが、健康状態による」が15.5
パーセント
% となっています。



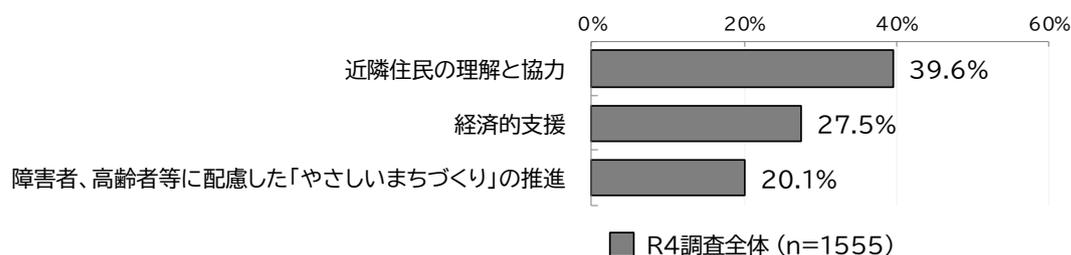
- 何があっても、一生住み続けたい
- 区内に住みたいが、健康状態による
- 仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい
- なるべく区外に住みたい
- 生活が不便で区内では暮らすことができない
- 家族の意向による、決められない
- 無回答



(2)共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えること

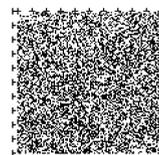
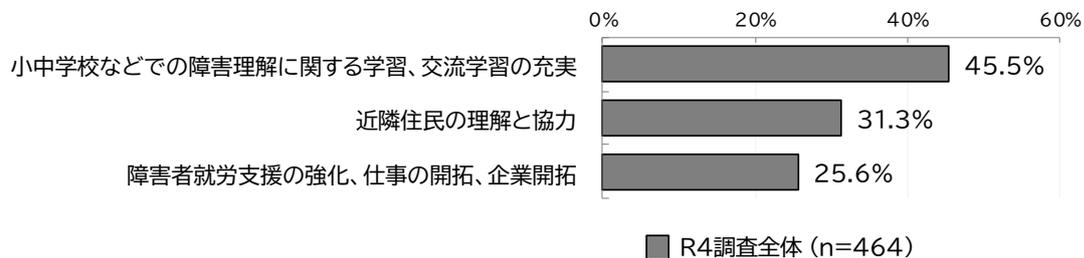
<障害者調査 問52>

共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えることについて、令和4年調査全体では「近隣住民の理解と協力」が39.6 % と最も高く、次いで「経済的支援」が27.5 %、「障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進」が20.1 % となっています。



<障害児調査 問47>

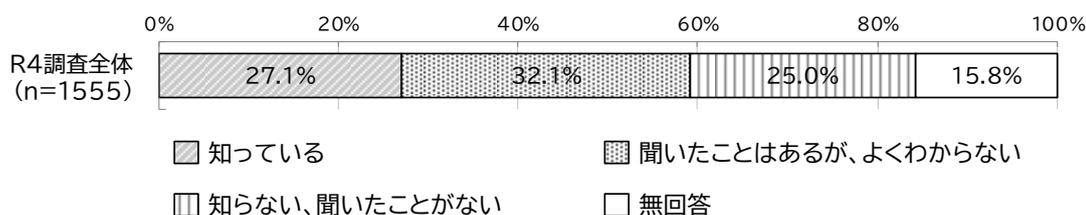
共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えることについて、令和4年調査全体では「小中学校などでの障害理解に関する学習、交流学习の充実」が45.5 % と最も高く、次いで「近隣住民の理解と協力」が31.3 %、「障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓」が25.6 % となっています。



(3) 成年後見制度の認知度

< 障害者調査 問54ア >

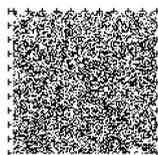
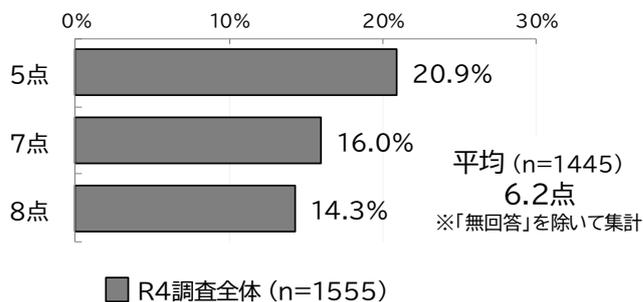
成年後見制度について、令和4年調査全体では「聞いたことはあるが、よくわからない」が32.1%、「知っている」が27.1%、「知らない、聞いたことがない」が25.0%となっています。



(4) 幸福度

< 障害者調査 問56 >

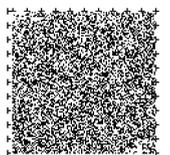
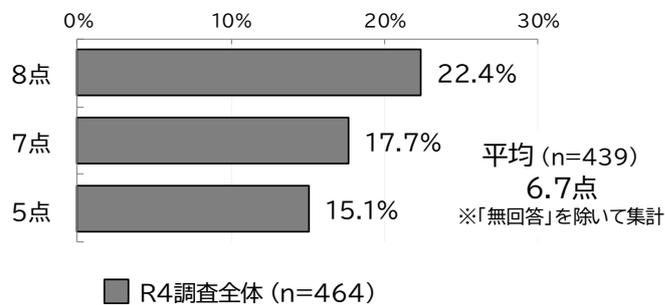
幸福度について、令和4年調査全体では「5点」が20.9%と最も高く、次いで「7点」が16.0%、「8点」が14.3%となっています。「0点」から「10点」のいずれかを回答した方の平均は6.2点となっています。



| | 合計 | 問56.幸福度 | | | | | | | | | | | | | 合計 ※無回答を除く | 平均(点) |
|------|---------|---------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|------------|------------|---------------|-------|
| | | 0点 とても不幸 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 とても幸せ | 無回答 | | | |
| 障害種別 | 身体障害 | 616 100.0% | 12 1.9 | 4 0.6 | 9 1.5 | 29 4.7 | 29 4.7 | 127 20.6 | 59 9.6 | 108 17.5 | 102 16.6 | 39 6.3 | 52 8.4 | 46 7.5 | 570 | 6.4 |
| | 知的障害 | 301 100.0% | 2 0.7 | 1 0.3 | 8 2.7 | 15 5.0 | 7 2.3 | 79 26.2 | 25 8.3 | 38 12.6 | 45 15.0 | 17 5.6 | 34 11.3 | 30 10.0 | 271 | 6.5 |
| | 精神障害 | 385 100.0% | 16 4.2 | 14 3.6 | 26 6.8 | 48 12.5 | 31 8.1 | 80 20.8 | 47 12.2 | 38 9.9 | 31 8.1 | 10 2.6 | 17 4.4 | 27 7.0 | 358 | 5.0 |
| | 難病 | 454 100.0% | 9 2.0 | 0 0.0 | 10 2.2 | 31 6.8 | 20 4.4 | 79 17.4 | 47 10.4 | 94 20.7 | 72 15.9 | 35 7.7 | 29 6.4 | 28 6.2 | 426 | 6.4 |
| | 発達障害 | 92 100.0% | 2 2.2 | 0 0.0 | 5 5.4 | 9 9.8 | 5 5.4 | 19 20.7 | 13 14.1 | 8 8.7 | 13 14.1 | 3 3.3 | 9 9.8 | 6 6.5 | 86 | 5.9 |
| | 高次脳機能障害 | 90 100.0% | 4 4.4 | 0 0.0 | 1 1.1 | 7 7.8 | 4 4.4 | 12 13.3 | 6 6.7 | 14 15.6 | 14 15.6 | 6 6.7 | 9 10.0 | 13 14.4 | 77 | 6.4 |
| 年齢別 | 18～39歳 | 311 100.0% | 5 1.6 | 3 1.0 | 6 1.9 | 21 6.8 | 15 4.8 | 57 18.3 | 32 10.3 | 52 16.7 | 44 14.1 | 24 7.7 | 37 11.9 | 15 4.8 | 296 | 6.5 |
| | 40～64歳 | 661 100.0% | 16 2.4 | 12 1.8 | 28 4.2 | 58 8.8 | 35 5.3 | 139 21.0 | 66 10.0 | 90 13.6 | 95 14.4 | 37 5.6 | 39 5.9 | 46 7.0 | 615 | 5.8 |
| | 65～74歳 | 301 100.0% | 3 1.0 | 2 0.7 | 5 1.7 | 20 6.6 | 22 7.3 | 65 21.6 | 30 10.0 | 66 21.9 | 31 10.3 | 12 4.0 | 21 7.0 | 24 8.0 | 277 | 6.1 |
| | 75歳以上 | 258 100.0% | 2 0.8 | 1 0.4 | 2 0.8 | 8 3.1 | 10 3.9 | 58 22.5 | 27 10.5 | 39 15.1 | 51 19.8 | 15 5.8 | 26 10.1 | 19 7.4 | 239 | 6.7 |

しょうがいじちょうさ とい
<障害児調査 問50>

こうふくど について、れいわ ねんちょう さ ぜんたい では「8点」が22.4 % と最も高く、次いで「7点」が17.7 %、「5点」が15.1 % となっています。「0点」から「10点」のいずれかをかいとう した方のへいきん 平均は6.7点となっています。

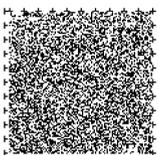
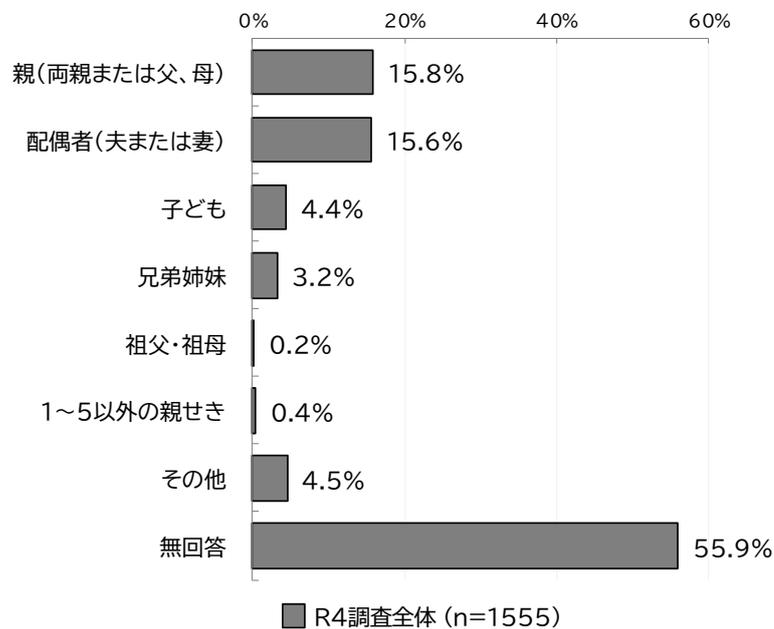


10 介護者について

(1) 介護者の続柄

< 障害者調査 問58 >

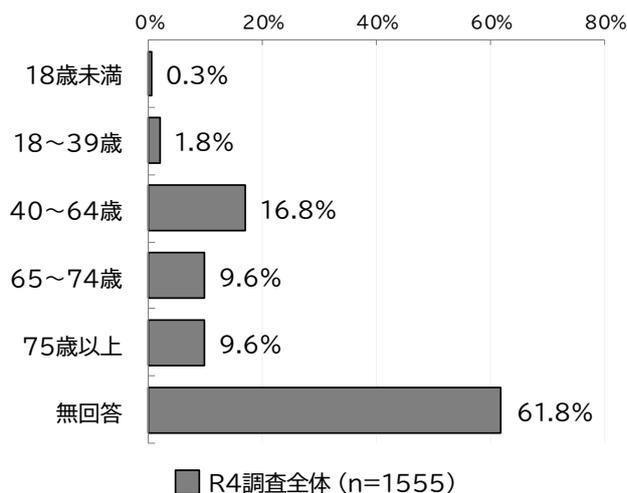
主な介護者の続柄は「無回答」以外で、令和4年調査全体では「親（両親または父、母）」が15.8 % と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が15.6 %、「その他」が4.5 %、「子ども」が4.4 % となっています。



(2) 介護者の年齢

< 障害者調査 問58ア >

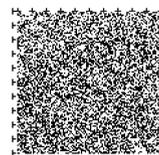
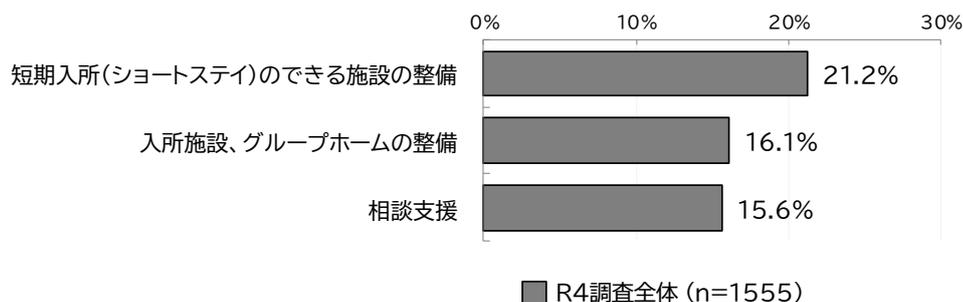
主な介護者の年齢は「無回答」以外で、令和4年調査全体では「40～64歳」が16.8%と最も高く、次いで「65～74歳」「75歳以上」が同率で9.6%となっています。



(3) 家族介護の支援策として今後充実してほしいこと

< 障害者調査 問61 >

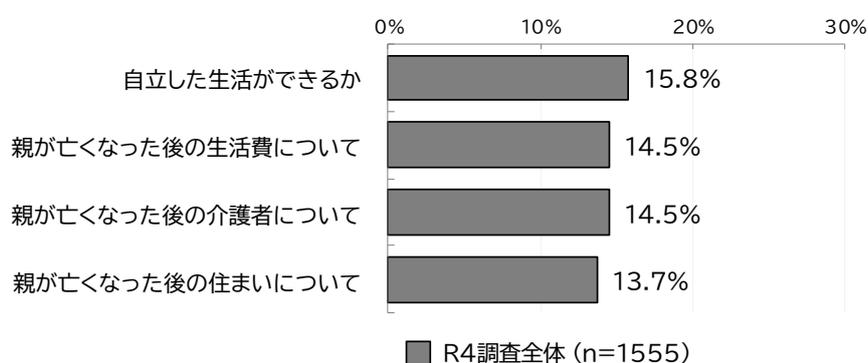
主な介護者が、今後充実してほしい家族介護の支援策について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「短期入所(ショートステイ)のできる施設の整備」が21.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」が16.1%、「相談支援」が15.6%となっています。



(4) 将来について不安に思うこと

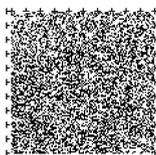
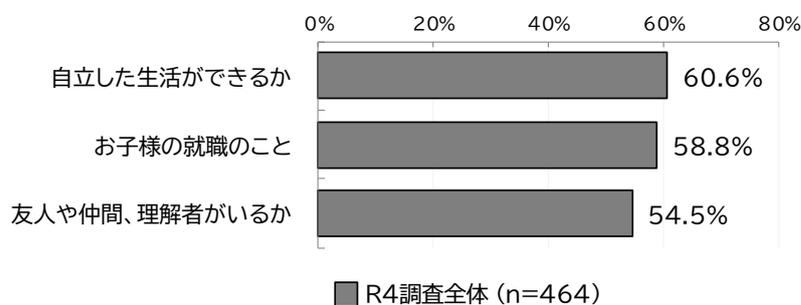
<障害者調査 問67>

主な介護者が、介護している人の将来のことで不安に思うことについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「自立した生活ができるか」が15.8%と最も高く、次いで「親が亡くなった後の生活費について」「親が亡くなった後の介護者について」が同率で14.5%、「親が亡くなった後の住まいについて」が13.7%となっています。



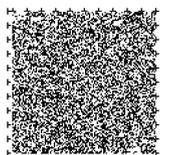
<障害児調査 問58>

主な介護者が、子どもの将来のことで不安に思うことについて、令和4年調査全体では「自立した生活ができるか」が60.6%と最も高く、次いで「お子様の就職のこと」が58.8%、「友人や仲間、理解者がいるか」が54.5%となっています。



だい しょう
第 3 章

ていきょうじぎょうしょちょうさ
サービス提供事業所調査の
おも けっか
主な結果

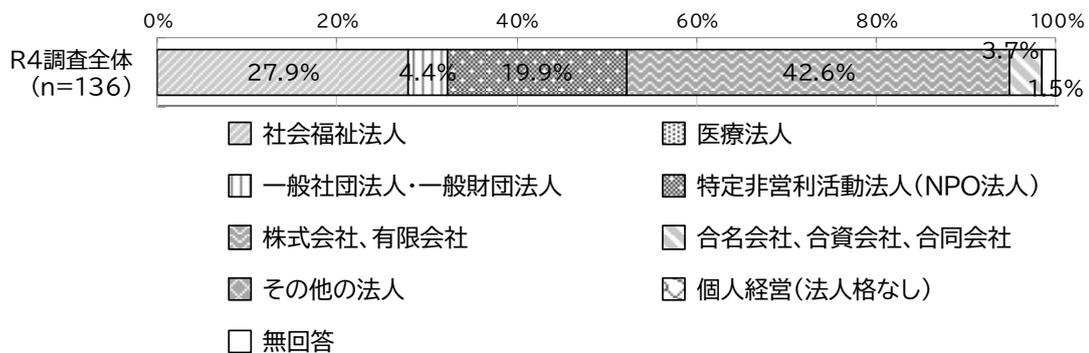


1 事業所について

(1) 事業所の経営主体

<サービス提供事業所調査 問1>

事業所の経営主体について、令和4年調査全体では「株式会社、有限会社」が42.6%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が27.9%、「特定非営利活動法人(NPO法人)」が19.9%となっています。

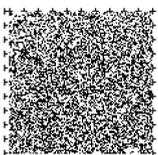
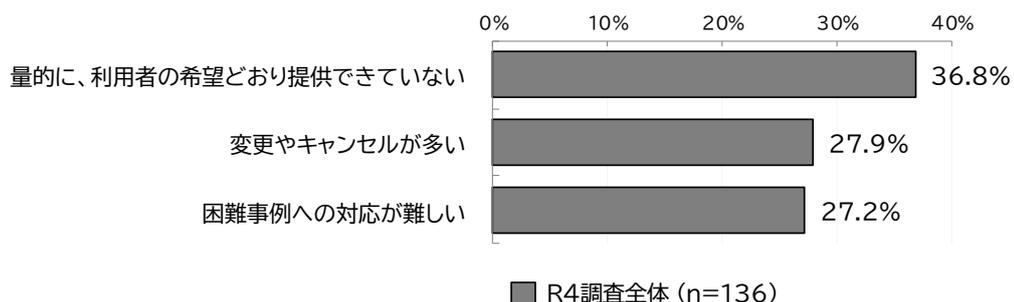


2 サービスの提供について

(1) サービスを提供する上での課題

<サービス提供事業所調査 問8>

事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、令和4年調査全体では「量的に、利用者の希望どおり提供できていない」が36.8%と最も高く、次いで「変更やキャンセルが多い」が27.9%、「困難事例への対応が難しい」が27.2%となっています。

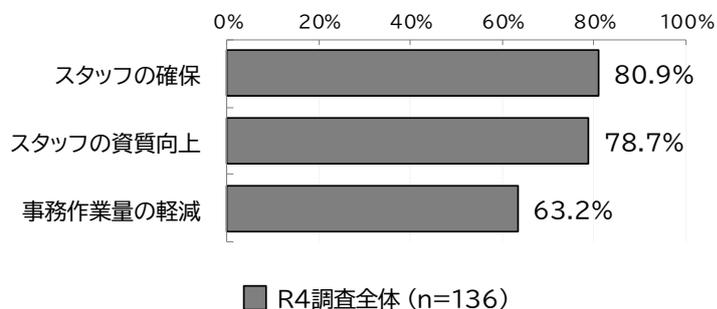


3 事業所運営について

(1) 事業所を経営していく上での課題

<サービス提供事業所調査 問16>

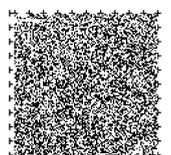
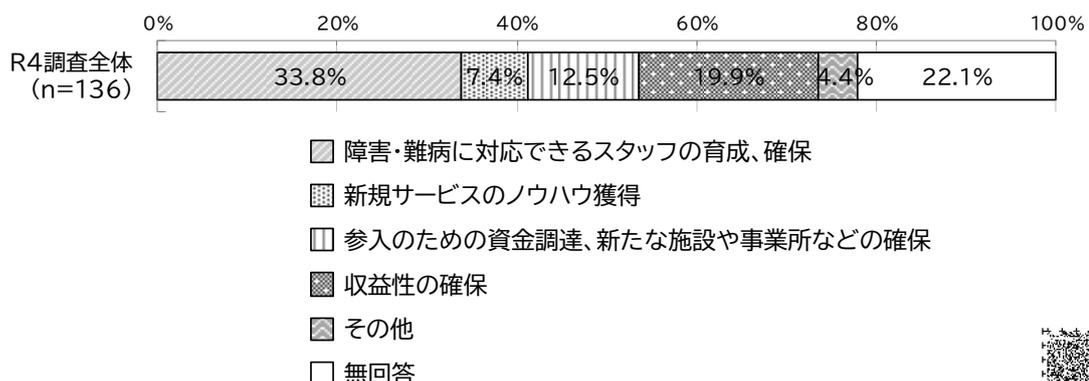
事業所を経営していく上での課題について、令和4年調査全体では「スタッフの確保」が80.9%と最も高く、次いで「スタッフの資質向上」が78.7%、「事務作業量の軽減」が63.2%となっています。



(2) 新規参入や事業拡大する上での課題

<サービス提供事業所調査 問22>

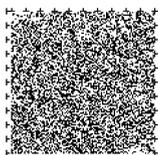
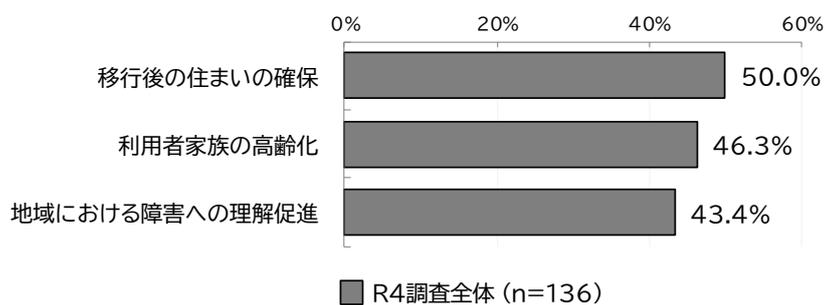
事業所が、新規参入又は事業拡大する上で課題になることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保」が33.8%と最も高く、次いで「収益性の確保」が19.9%、「参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保」が12.5%となっています。

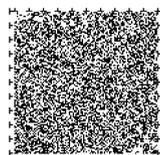


(3) 入所者の地域生活への移行を進める上での課題

<サービス提供事業所調査 問26>

事業者が、入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、令和4年調査全体では「移行後の住まいの確保」が50.0%と最も高く、次いで「利用者家族の高齢化」が46.3%、「地域における障害への理解促進」が43.4%となっています。





れいわ ねんど
令和4年度

こうとうくちいきせいかつ かん ちょうさ こうとうくしょうがいしゃじつたいちょうさ
江東区地域生活に関する調査(江東区障害者実態調査)

ちょうさけつ かほうこくしょ がいようばん
【調査結果報告書 概要版】

はつ こう こうとうく
発行:江東区

へん しゅう こうとうく しょうがいふくし ぶ しょうがいしゃし さく か
編集:江東区 障害福祉部 障害者施策課

じゅう しょ
住所:〒135-8383

とうきょうとこうとうくとうよう
東京都江東区東陽4-11-28

でんわばんごう
電話番号:03-3647-4749

ちょうさきかん かぶしきがいしゃにほんのうりつきょうかいそうごうけんきゅうしょ
調査機関:株式会社日本能率協会総合研究所

はつこうねんげつ れいわ ねん がつ いんさつぶつとうろくばんごう ごと
発行年月:令和5年3月 印刷物登録番号(4)96号

